

令和4年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の
サルによる被害防止管理委員会 会議録

1 会議の名称	令和4年度 第2回 天然記念物「高宕山のサル生息地」の サルによる被害防止管理委員会
2 開催日時	令和5年3月28日(火) 14時00分～15時00分
3 開催場所	富津市役所4階401会議室
4 審議等事項	(1) 令和4年度事業の経過報告及び予算執行状況について (2) 令和5年度事業計画(案)及び予算(案)について
5 出席者名	委員 小泉義行、岡根 茂、成川正憲、根本 浩、中澤京子、 嶋野利郎、池田文隆 オブザーバー 下稲葉さやか(千葉県教育庁教育振興部文化財課) 事務局 (調査団) 直井洋司、白鳥大祐 (富津市) 平野 勉、樋口峰昭、桐村修司、金木佑天 (君津市) 當眞紀子
6 公開又は非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部非公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 非公開の理由	
8 傍聴人の人数	0人(定員 5人)
9 所管課	教育部 生涯学習課 文化係 電話 0439-80-1342
10 会議録(発言の内容)	別紙のとおり

発言者	発言内容
(富津市)樋口 生涯学習課長	<p>ただいまから、令和4年度第2回天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を始めさせていただきます。</p> <p>委員の皆様には、何かとお忙しい中、本会議にご出席を賜り誠にありがとうございます。</p> <p>本日の進行を務めさせていただきます、富津市生涯学習課長の樋口でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>会議に先立ち、出欠席の報告をさせていただきます。</p> <p>本日の会議は、出席者7名、欠席者6名です。</p> <p>過半数の委員の出席を得ており、本委員会設置要綱第7条第2項により成立しております。</p> <p>はじめに、委員長であります、小泉富津市副市長からご挨拶申し上げます。</p>
小泉委員長	<p>皆さんこんにちは。ただいまご紹介いただきました、富津市副市長の小泉でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>委員の皆様におかれましては、年度末の大変ご多用の中、本委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。</p> <p>今年度の第1回会議につきましては、新型コロナウイルス感染症予防のため書面にて開催をさせていただきました。本日の第2回会議につきましては、新型コロナウイルス感染症もようやく沈静化に向かっていることから、対面にて開催をさせていただく運びとなりました。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>さて、当地域でのサルによる作物への被害はいまだ多く、本会議での役割は重要なものとなっております。</p> <p>本日はお忙しい中、千葉県教育庁教育振興部文化財課から下稲葉様にお越しいただいております。後ほど、今後の方針等についてお話をいただきたいと存じます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日の議題でございますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 令和4年度事業報告及び決算について (2) 令和5年度事業計画案及び予算案について <p>の2件でございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、様々なお立場からのご意見、ご提案等をいただくとともに、慎重なる審議をお願いいたしまして、冒頭の挨拶</p>

<p>(富津市)樋口 生涯学習課長</p>	<p>とさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>議事に入る前に、お手元にお配りしました資料の確認を取らせていただきます。</p>
<p>(富津市) 金木主任主事</p>	<p>それでは、お配りしました資料の確認をいたします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 会議次第 2 委員名簿 3 席次表 4 委員会設置要綱 5 天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業報告書（途中経過） 6 令和4年度予算執行状況 7 令和5年度事業計画書（案） 8 令和5年度事業予算（案） <p>以上の8点です。</p>
<p>(富津市)樋口 生涯学習課長</p>	<p>本日の会議は、公開となります。会議終了後、会議録を作成し、富津市および君津市のホームページにて公開いたします。会議録作成のため録音をさせていただきますので、ご了承願います。</p> <p>それでは、本委員会設置要綱第7条第3項の規定により、議長を小泉委員長にお願いいたします。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>議長を務めさせていただきます。皆様方には、スムーズな議事の進行にご協力をお願いいたします。</p> <p>議題に入る前に会議録署名委員2名を決めたいのですが、慣例により私から指名してよろしいでしょうか？</p>
<p>委員一同</p>	<p>異議なし。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、ご異議もないようですので、根本浩委員、中澤京子委員にお願いいたします。</p> <p>それでは、議題に入らせていただきます。議題（1）、令和4年度事業</p>

<p>(君津市) 當眞 副主幹(事) 文化振興係長</p>	<p>の経過報告及び予算執行状況について事務局の説明を求めます。</p> <p>令和4年度事業途中経過について、お手元の資料5に沿って説明いたします。資料は、2月28日現在の記載となっております。</p> <p>2ページをご覧ください。</p> <p>1 被害防止</p> <p>(1) 電気柵による被害防止</p> <p>当事業で設置した既設電気柵について、地元の調査補助員や調査団員により、月1回程度の点検、補修を行いました。4ページの表1.2が結果です。</p> <p>3ページ表1.1、宇藤原地区の周回電気柵の※の場所を対象に草刈りを実施しました。</p> <p>4ページをご覧ください。</p> <p>②改修</p> <p>今年度は、富津市高溝地区のT7、君津市平田地区のK11の改修を3月に実施しております。資料4・5ページには改修前の写真を掲載しております。改修した電気柵の位置は、2ページ図1-1をご覧ください。高溝地区は青、平田地区は黄色で示しています。</p> <p>5ページをご覧ください。</p> <p>(2) 被害多発期の追い払い</p> <p>8月2日から9月10日までの期間、要現状変更範囲やその周辺を巡回し、群れやオスグループ等を発見した際に追い払いを行いました。実施員数は延べ20人日です。巡回中に耕作地でニホンザルに遭遇することはなく、遭遇場所は国道沿いでした。追い払い期間中に確認した稲作被害については、ニホンザル以外の動物被害も考えられます。</p> <p>(3) 被害実態調査</p> <p>3月現在、実施中です。</p> <p>6ページをご覧ください。</p> <p>2 生態調査と個体数管理</p> <p>(1) 電波発信機装着のための捕獲</p> <p>電波発信機を装着するため、箱ワナを6か所に7台設置しました。設置箇所は図2-1に、設置の様子は7ページ写真2.1に記しました。</p> <p>8ページをご覧ください。今年度は、2月末の段階で計21頭の捕獲がありました。捕獲個体には麻酔をし、外部計測、形態による交雑判定、血液サンプル採取を実施しています。8ページの表2-2が捕獲個体の一</p>
---------------------------------------	---

覧です。

9・10 ページには、発信機装着個体等の写真を掲載してあります。捕獲個体のうち発信機装着個体は、表 2-2 の通番号 2 番・君津市旅名捕獲のヒナ、7 番・富津市宇藤原捕獲のウタ、13 番・君津市西日笠捕獲のマツ、21 番・富津市小倉捕獲のラグのメス 4 頭です。13 番のマツと 7 番のウタには、GPS 電波発信機を装着しております。

形態による交雑判定では、君津市 3 頭、富津市 1 頭の計 4 頭が交雑と判定され、安楽殺処分となりました。表 2.2 の赤字「交雑」の個体です。判定は、7 ページ表 2.1 の相対尾長による基準と体毛色の違いによって行っています。

8 ページにお戻ります。16 番のフジオは、昨年度捕獲し電波発信機を装着した個体ですが、再捕獲されました。発信機の不具合と発信機による首のケガが認められたため、発信機を外し放獣しました。

9 番の個体は、顔の入れ墨等から、富津市高宕山自然動物園の個体であることが分かったため、動物園へ引き渡しました。

その他の個体は、放獣しております。

11 ページをご覧ください。

(2) 生態調査

今年度の追跡対象は、表 2-1 に記した田倉群、小倉 A 群、旅名 A 群の 3 群と群れを特定していない 3 頭です。表 2-1 のフジオについては、今年の 2 月 15 日に電波発信機を取り外しておりますので、2 月末での指定地域周辺のテレメーター装着個体は、6 頭となります。11・12 ページ本文、13～17 ページに各群れの 2 月末までの遊動域を掲載しております。最終的には、3 月末までのデータをまとめます。

各群れの遊動域にはあまり大きな変化はみられませんが、①田倉群、④マツの群れに GPS 搭載の発信機装着個体がいるため、毎日 10 時、14 時、20 時の 1 日 3 点の位置情報を取得できるようになり、行動域の詳細な情報がとれるようになりました。2 月に捕獲・装着した個体（富津市側のラグと君津市側のマツ）は、調査期間が短いため、現段階では群れの特定をしていますが、引き続き調査をしていきます。

12 ページをご覧ください。

(3) 個体数管理

富津市農林水産課、君津市農政課より有害鳥獣駆除の資料を提供していただき、取りまとめます。

18 ページをご覧ください。

<p>(富津市)桐村 副主幹(事) 文化係長</p>	<p>3 天然記念物指定地域の環境改変と生息環境調査 12月に対象樹木の成長量調査を行いました。調査区域は18・19ページ、成長状況については20～22ページに示しています。県有林・国有林ともに先枯れや枯れ木が見られました。 生息環境調査については、3月内に取りまとめます。 以上、報告いたします。</p> <p>続きまして、令和5年2月28日現在の令和4年度予算執行状況をご報告いたします。</p> <p>(歳入)</p> <p>予算額 4,473,000円 収入済額 4,473,000円。</p> <p>(歳入内訳)</p> <p>富津市 2,460,000円 君津市 2,013,000円 計 4,473,000円</p> <p>(歳出)</p> <p>予算額 4,473,000円 支出済額 3,563,594円 残額 909,406円 執行率 約80%</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>ありがとうございました。 事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>岡根委員</p>	<p>執行状況が2月28日現在ということでしたが、3月末までに残額約90万円の執行予定はどのようなものでしょうか？</p>
<p>(富津市)桐村 副主幹(事) 文化係長</p>	<p>電気柵の維持管理の予定がございます。作業はほぼ終了しておりますが、請求がまだ上がってきていないため、この時点では記載しておりませんが、3月末に使い切る予定です。</p>

岡根委員	わかりました。ありがとうございます。
小泉委員長	他にご質問もないようですので、議題（１）令和４年度事業の経過報告及び予算執行状況について、ご承認いただけますでしょうか？
委員一同	異議なし。
小泉委員長	ありがとうございます。 異議なしということで、本件は承認されました。 続きまして、議題（２）令和５年度事業計画案及び予算案について、事務局の説明をお願いします。
(君津市) 眞 副主幹(事) 文化振興係長	令和５年度事業計画（案）に沿ってご説明いたします。 本事業は、事業主体を管理団体である富津市及び君津市とし、天然記念物「高宕山のサル生息地」のサルによる被害防止管理事業調査団を委託先とします。 経費は、４,４７３,０００円。 内訳は、富津市２,４６０,０００円、君津市２,０１３,０００円です。 期間は令和５年４月１日から令和６年３月３１日までです。 事業内容は、 （１）被害防止事業 （２）生態調査と個体数管理 （３）天然記念物指定地域の生息環境調査 成果品は、報告書と精算書を年度末までに提出することとします。 事業内容の詳細については、次のページの詳細（案）をご覧ください。 令和５年度は、環境変化の調査を実施しない年ですので、生息環境調査のみを実施いたします。 このほか、当委員会委員名簿、調査団組織を添付してあります。 以上です。
(富津市) 桐村 副主幹(事) 文化係長	続きまして、令和５年度事業予算案についてご説明いたします。 （歳入） 委託料 ４,４７３,０００円 （内訳） 富津市 ２,４６０,０００円

	<p>君津市 2,013,000 円 計 4,473,000 円</p> <p>(歳出)</p> <p>報償費 58,000 円 賃金 調査員費 1,420,000 円 調査補助員 672,000 円 旅費 242,000 円 消耗品費 電気柵改修費 1,305,000 円 電気柵維持管理 190,000 円 調査用品 508,000 円 文具その他 40,000 円 役務費 損害保険料 8,000 円 通信連絡費 30,000 円 合計 4,473,000 円</p>
小泉委員長	<p>ありがとうございました。 その他、補足説明等ございますか。</p>
(調査団)直井	<p>来年度予算の電気柵の改修は、450mで計上しています。今年度の370mから80m増やしています。これは、富津市宇藤原地区を実施するものですが、この地区の電気柵は完成までに非常に手間がかかっている状況です。そのため、少しでも長く設置させていただきたいというものであります。この分は、調査員賃金等を削っております。本年度の報告にありましたように、GPS テレメーターによって、より多くのデータが得られるようになりましたので、調整しながら少し調査員の動きを抑えていこうと考えています。</p>
小泉委員長	<p>事務局の説明が終わりました。ただいまの説明につきまして、何かご質問等ございましたらよろしくお願いします。</p>
嶋野委員	<p>宇藤原の集落を囲う方針で数十年経ちますが、市の方には大変務めてもらってきています。まだ被害が収まらないということと、耐用年数を超え、既に壊れている電気柵もたくさんありますので、来年度以降、将来的に予算を多めに組んで、早期に被害がなくなるような対策をしてい</p>

	<p>ただきたい。</p> <p>当時はサルだけでしたが、今はイノシシ、シカ、小動物などの被害もあり、宇藤原に住んでいる住民も耕作意欲をなくしてきていますので、なるべく早く、被害がもっと少なくなるように対策をみんなで考えていたただきたい。</p>
小泉委員長	<p>他にございますか。</p>
池田委員	<p>宇藤原地区を見たところ、耕作地もだいぶ減ってきています。電気柵で村を囲うという方針でしたが、君津市のように小さい畑・田んぼを囲う形であれば被害がかなり減るのではないかと思います。できるだけ畑を囲うような方針で考えていくのがよろしいのではないかと意見させていただきます。</p>
小泉委員長	<p>他にご質問がないようですので、議題（２）令和５年度事業計画案及び予算案について、ご承認いただけますでしょうか？</p>
委員一同	<p>異議なし。</p>
小泉委員長	<p>異議なしということで、本件は承認されました。 お手元の次第の「案」の文字を消してください。 続きまして、次第の４ その他でございますが、何かございますか？</p>
(千葉県)下稲葉文化財主事	<p>特にないようでしたら、本日、千葉県教育庁教育庁教育振興部文化財課より下稲葉様がお見えになっておりますので、今後の方向性について助言をいただきたいと思います。</p> <p>ご紹介にあずかりました、千葉県教育庁教育振興部文化財課で天然記念物の担当をしております下稲葉と申します。よろしくお願いたします。</p> <p>天然記念物「高宕山のサル生息地」は、昭和 30 年代に指定されて以来、70 年近く、サルの群れの生態が観察できる貴重なものとして保護されてきた一方で、深刻な猿害の問題もございます。</p> <p>文化財の保護と被害問題の間で折り合いをつける努力を長いこと継続されてきました地元の方々、行政の皆様、専門家の皆様には深くお礼申</p>

	<p>上げるところでございます。</p> <p>富津市より、サルの捕獲に関して協議の範囲や現状変更の範囲を見直しできないかと相談を受けており、私の方から文化庁の天然記念物部門の担当調査官に確認いたしましたので、その結果をご報告いたします。</p> <p>まず、文化財として対象となるサルの群れは、「指定地を生息地として使用している群れ」となります。加えまして、指定地に由来しているとされ、個体識別をして追跡している群れだが、現在は指定地から少し離れてしまっているというようなサルの群れは、慎重に取り扱いを検討すべき対象だ、と文化庁から言われております。</p> <p>現在、ご報告を受けました調査団の方々や県の自然保護課により、サルの群れの遊動域などが明らかになってきています。生息地の範囲や指定地の情報を合わせまして、また、これまでの個体識別の情報ともあわせまして、どの群れが文化財のサルの群れに該当するのかをまず確認し、その群れがどこまで遊動しているのか、という生息地を地図上に表し、この群れと生息地の範囲データを示しまして、その情報をもとに文化庁の天然記念物部門の調査官と協議をすることによって、今後の取り扱い方針を見直すことができるということでございます。</p> <p>ですから、先ほどの手順を踏まえまして、今後はサルの取り扱いについて現状に即した方法で対応していただければと思います。</p> <p>今後とも皆様のお力添えをどうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。</p>
小泉委員長	<p>ただいまのご説明につきまして、ご質問等ございましたら、よろしくお願いいたします。</p>
池田委員	<p>指定地を離れたサルの扱いについて、GPS データの遊動域から例えば、半分が要現状変更範囲、残り半分は指定地外の田倉、このような場合はどう考えるべきなのか。</p>
(千葉県)下稲葉文化財主事	<p>これは、文化庁との協議によるとしか申し上げられません。</p> <p>ただ、このような情報を示して、文化庁に「これはどう考えるべきか？」と質問する、協議をすることが大事です。</p>
池田委員	<p>1980年の事業開始時は、高岩Ⅰ群という群れが指定地域内を主に利用していて、指定地域から出て少し東よりに動いていたと思います。</p>

<p>(調査団)直井</p>	<p>現在と比較して、1980年から同様の状態に群れがいて、その頃は個体識別できるサルの群れが同様の分布を動いていましたが、それから何十年か経つと入れ替わり、個体識別といっても当時の個体は残っていません。この地域で暮らす彼らの行動パターンや文化のような形で伝わっているとは思いますが、文化庁との協議というのが難しいように感じます。</p> <p>調査団から。</p> <p>要現状変更範囲というのは、この事業が始まった1980年当時に主な対象であったT-I群の行動域を囲ったものです。ですから、T-I群を天然記念物の対象にするため、この地域を文化財としての補助的な地域に設定しました。そのため、当時は、T-I群はこの範囲から出ないという、研究者の中でも学術的な了解があったわけですが、40年近く事業を続けていくうちに、群れの行動域が大きく動きました。それで、かつて別の群れがいたところに今度は別の群れが入ってきて同じよう行動するというようなことがあるわけです。</p> <p>ただ、天然記念物の管理あるいは保護という観点の中にそのような視点がまだ十分に備わっていないので、指定地域の対象となる群れとの齟齬が生まれてしまっています。非常に長い年月で作った科学的な知見データがありますので、ぜひご利用いただきたいと思います。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>他にいかがですか。</p> <p>それでは、他にないようですので、その他何かございますでしょうか？事務局よろしいですか？</p>
<p>事務局</p>	<p>特にありません。</p>
<p>小泉委員長</p>	<p>ないようですので、議長の職をここで解かさせていただきます。ご協力ありがとうございました。</p>
<p>一同</p>	<p>ありがとうございました。</p>
<p>(富津市)樋口生涯学習課長</p>	<p>以上をもちまして、令和4年度第2回天然記念物「高岩山のサル生息地」のサルによる被害防止管理委員会会議を閉会いたします。</p> <p>長時間にわたるご審議、ありがとうございました。</p>